

SCS(Shrimp Cultivation System)

ゼロ・エネ・プラン・シュリンプ養殖キット研究開発



川エビとは専ら以下の淡水エビを指します。

ミナミヌマエビ (選定種)



テナガエビ
ヒラテナガエビ
スジエビ
ミナミテナガエビ
ヤマトヌマエビ
トゲナシヌマエビ
ヒメヌマエビ
ミズレヌマエビ

Q-01 研究開発の目的は？

1. 海洋資源の枯渇 ⇒ 陸上養殖ニーズの増加
2. 安全・安定した食料確保 ⇒ 家庭養殖の普及
3. 政治、経済頼りのエネルギー・環境対策の限界 ⇒ 個人の意識・行動改革支援

Q-02 何故、川エビなのですか？

1. 高価な人口海水を必要としない。また、海水の陸上輸送を必要としない。
2. まるごと食べるので栄養価が高く、効率が良い。
3. 野菜の水耕栽培とのコラボが可能。

Q-03 何故、ミナミヌマエビを選定したのですか？

1. 雑食で藻類、デトリタス等、何でも食べる。
本研究では専ら米糠(ライス・ブラン)を餌とした与えている。
2. 素揚げにした際、テナガエビのように鉋が口内に刺さることが少ない。
3. おとなしい性格で共食いせず、増やしやすい。
4. 閉鎖水域での養殖が可能で稚エビが海に帰る必要がない。(海水不要)
5. 卵からプランクトン(ゾエア)形態をとらず、稚エビとなる為、ポンプへの吸引リスクが少ない。
6. 低コストな為か本格養殖の実施例が殆どない。

Q-04 ゼロエネ・ブラン・シュリンプの名称の意味は？

1. 水の循環には太陽電池とソーラーポンプを用います。
2. 水のろ過には木炭(竹墨)等のカーボン・ニュートラル微生物担体を用います。
3. 冬季の加温にはエスコットで開発した太陽熱回収器「ヒートル・パネル」を用います。
4. 餌には栄養価が高く、安全な日本産米糠を与えます。

Q-05 これまでに解ってきたポイントは？

1. 他の種と競合を避ける。(魚だけでなく水生昆虫等を含む)
2. 底面にはゼオライト等の多孔質材を入れ、水質の急変を緩和する。
3. 餌場を程よく隔離し、餌による水質汚染リスクを低減する。
4. キンギョソウの様な食べやすく、同時に稚エビの生息場となる水草を多めに入れる。

Q-06 現在の研究課題は？

1. より大きくする為の研究
2. 水耕栽培とのシステム連携の研究
3. 簡易温調システムの開発

SCS プロジェクトに関するお問い合わせ
NPO 法人 エスコット 柏環境研究所
〒277-0011 千葉県柏市東上町 4-17
<tel:080-4365-0861> e.meil:ser.kashiwa@gmail.com